

病院沿革

大崎市民病院は、昭和 13 年 12 月古川町を中心とする 20 数か町村の産業組合出資による大崎久美愛病院として開院し、昭和 32 年度に古川市立病院、平成 18 年に市町村合併により大崎市民病院となり、県北の基幹病院として急性期医療、高度医療等を担ってきた。

大崎市古川千手寺町の建物は、築後 40 年以上が経過し、老朽化・狭隘化していたことから、平成 26 年 6 月に大崎市古川穂波地区へ新築移転した。沿革概略は以下のとおり。

昭和 12 年	6 月	大崎医療購買利用組合連合会設立許可
昭和 12 年	11 月	病院開設許可
昭和 13 年	12 月	大崎久美愛病院発足 県下初の古川町を中心とする 20 数か町村の産業組合出資により「大崎医療利用組合連合会」を設立
昭和 17 年	6 月	大崎久美愛病院附属伝染病組合開設。(28 床)
	12 月	宮城県信用販売利用組合連合会に吸収合併
昭和 19 年	4 月	団体総合により宮城県農業会に移行
昭和 23 年	8 月	宮城県農業会解散により宮城県厚生農業協同組合連合会に移行
昭和 32 年	6 月	名称を「古川市立病院」に改称 病床数 218 床 (一般 140 床, 結核 60 床, 伝病 18 床) 基準給食実施
昭和 32 年	9 月	基準看護実施
昭和 34 年	10 月	診療科目に小児科を追加
昭和 35 年	5 月	診療科目に整形外科を追加
	7 月	看護婦寄宿舍建設, 鉄筋コンクリート造 2 階及び 3 階
昭和 36 年	4 月	地方公営企業法全部適用
	10 月	古川市外 12 ヶ町村伝染病院組合設立による伝病棟完成 伝病 50 床増床 計 268 床
昭和 38 年	2 月	許可病床数変更 398 床に増床 (一般 270 床, 結核 78 床, 伝病 50 床)
昭和 39 年	9 月	基準寝具実施
昭和 40 年	10 月	病院全面増改築工事設計に着手
昭和 42 年	5 月	病院建設第一期竣工 (本館及びサービス棟) 許可病床数 352 床に再編成 (一般 302 床, 伝病 50 床)

	6月	診療科目に歯科を追加
昭和 43年	3月	診療科目に泌尿器科を追加
昭和 43年	8月	本館及びサービス棟全面竣工（総工費 550,000 千円）
昭和 44年	3月	病院開設の附属准看護学校を宮城県古川女子高等学校衛生看護科の設置に伴い廃校
昭和 45年	2月	救急告示病院指定
昭和 46年	8月	診療科目に眼科を追加
	12月	総合病院承認
昭和 47年	2月	人工腎臓透析診療開始
	5月	診療科目に皮膚科を追加
昭和 48年	3月	許可病床一部変更 352 床（一般 282 床，結核 20 床，伝病 50 床）
昭和 49年	11月	基準看護特一類に昇格許可
昭和 50年	10月	人工腎臓透析センター並びに看護婦厚生施設棟竣工
昭和 52年	7月	基準看護特二類に昇格許可
昭和 55年	10月	CT 棟増築
昭和 58年	8月	許可病床一部変更 352 床（一般 308 床，結核 24 床，伝病 20 床）
昭和 60年	12月	第 2 駐車場整備（100 台）
昭和 61年	4月	下水道布設替
	10月	防災施設の設置（スプリンクラー）
	12月	人工腎臓透析センター増築
平成 5年	1月	許可病床数変更 救急医療センター27床増床（うち6床医療法施行規則第30条の32） 許可病床数 379 床（一般 335 床，結核 24 床，伝病 20 床） 救急医療センター建設工事着工，鉄筋コンクリート造 地下 1 階地上 4 階建 特定集中治療室 10 床（ICU 6 床，CCU 4 床） 救急専用病床 17 床（HCU 17 床） 一般病床 50 床，地域医療研修室他
平成 6年	4月	診療科目に麻酔科，脳神経外科を追加
	6月	看護婦宿舎施設工事着工，鉄筋コンクリート造 3 階建 延床面積 666.0 m ² ，戸数 24 戸
	7月	救急医療センター竣工（総工費 4,260,000 千円） 結核基本一類昇格
	9月	基準看護特三類承認（救急病床 27 床） 救命救急入院料及び特定集中治療室管理料算定病床の承認 （特定集中治療室 10 床）

平成 7 年	3 月	看護婦宿舎施設竣工（総工費 192,739 千円）	
	6 月	新看護・A 加算届出（一般 335 床，結核 24 床）	
	11 月	第四次病院事業経営健全化団体指定	
平成 9 年	3 月	災害拠点病院（地域災害医療センター）認定	
	7 月	第 4 次病院事業経営健全化の完了通知受理（指定団体の解除） 新看護変更に係る届出（新看護 2.5:1，A 加算，看護補助 10:1）	
平成 10 年	1 月	リハビリ棟建設工事着工，鉄骨造 1 階建	
	4 月	リハビリ棟竣工（総工費 123,900 千円）	
	6 月	脳死に係る臓器提供病院の認定（厚生省）	
	8 月	新看護に係る届出（新看護 2:1）	
	4 月	第 2 種感染症指定医療機関（6 床）	
平成 11 年	5 月	アジア太平洋公衆衛生学会議古川会議（参加国 7）開催	
	6 月	国内 3 例目の臓器提供施設 診療科目に形成外科を追加	
	10 月	歯科から歯科口腔外科に標榜変更 許可病床数変更 415 床（一般 385 床，結核 24 床，感染 6 床） 放射線棟建設工事着工 鉄筋コンクリート造 2 階建 延床面積 545.96 m ²	
	11 月	許可病床数変更 425 床（一般 395 床，結核 24 床，感染 6 床） ※実働病床数 375 床（一般 345 床，結核 24 床，感染 6 床）	
平成 12 年	1 月	南病棟建設工事着工 鉄筋コンクリート造 地下 1 階，地上 5 階建 延床面積 7,117.05 m ² 病床数 146 床 屋上ヘリポート，災害用備蓄倉庫， リハビリテーションセンター，健診センター 他	
	3 月	放射性同位元素等使用許可（科学技術庁）（放射線発生装置） 放射線棟竣工（総工費 909,800 千円） 臨床研修病院指定（病院群）	
	4 月	診療科目に精神科・放射線科を追加 放射線棟施設検査合格（原子力安全技術センター） 日本内科学会教育病院認定 放射線棟使用許可	
	8 月	許可病床数変更 435 床（一般 405 床，結核 24 床，感染 6 床） ※実働病床数 375 床（一般床 345 床，結核床 24 床，感染 6 床）	
	10 月	宮城県救急医療研究会第 2 回学術集会	
	平成 13 年	4 月	診療科目に循環器科・消化器科を追加

- 5月 福利厚生棟竣工・使用許可
 検査棟竣工・使用許可
 自走式立体駐車場竣工 3層4段（収容台数120台）
 南病棟竣工
 総工費 4,534,450千円（建物 3,287,080千円 機械備品 918,870千円
 その他 328,500千円）
- 6月 許可病床数変更 452床（一般422床,結核24床,感染6床）
 ※実働病床数 375床（一般345床,結核24床,感染6床）
- 7月 実稼働病床数 452床（一般422床,結核24床,感染6床）
 南病棟開所式
 東北医学会特別講演会
- 10月 診療科目にリハビリテーション科を追加
- 11月 第一種助産施設認可
- 平成14年 1月 日本救急医学会認定医指定施設認定
 日本乳癌学会研修施設認定
 患者用福利厚生施設「オアシス」竣工
- 10月 病院使用許可申請届（言語療法室）
- 平成15年 1月 研修棟新築工事着工 鉄骨造2階建 延床面積787.47㎡
 第四次医療法改正の施行に伴う病床区分の届出（一般422床,結核24床,
 感染6床）
 日本外科学会外科専門医制度修練施設認定
- 2月 日本病理学会登録施設認定
- 3月 救急医療機関申出事項変更届出（告示番号1326号）
 病院使用許可申請届（南4階病棟4病室病床数変更）
 許可病床数変更 救命救急センター3床増床（医療法施行規則第30条の
 33）
 許可病床数 455床（一般425床,結核24床,感染6床）
 ※実働病床数 452床（一般422床,結核24床,感染6床）
- 5月 院内保育所の開所
- 6月 研修棟竣工（総工費119,218千円）
- 7月 日本医療機能評価機構 Ver.3.0 認定
- 8月 各病室病床数変更→南病棟23床運用開始
 地域がん診療拠点病院指定
- 12月 救命救急センターICU室工事着工（3床増床）
- 平成16年 3月 地域周産期母子医療センターの認定
 救命救急センターICU室竣工（3床増床）

	4月	義務化に伴う臨床研修指定病院の認定
平成 17年	1月	無菌病室の病床に係る増床 (医療法施行規則第30条の33) 許可病床数変更 3床増床 許可病床数 458床 (一般 428床, 結核 24床, 感染 6床)
	2月	感染管理室着工 プレハブ造 1階建
	3月	感染管理室竣工 (総工費 11,550,000円)
	7月	薬局内注射調剤室の整備
	10月	医療情報支援センター会議棟増築
平成 18年	2月	医療情報支援センター会議棟竣工 市町村合併に伴う書類事前提出
	3月	大崎地方 1市 6町合併により「大崎市」誕生 (3月31日) 併せて病院名も「大崎市民病院」となる 大崎市民病院 (本院) 許可病床数 458床 (一般 428床, 結核 24床, 感染 6床) 大崎市民病院鳴子温泉分院 許可病床数 170床 (一般 50床, 療養 120床) 大崎市民病院岩出山分院 許可病床数 95床 (一般 65床, 療養 30床) 大崎市民病院鹿島台分院 許可病床数 70床 (一般 40床, 療養 30床) 大崎市民病院田尻診療所 市町村合併に伴う各種指定申請 (廃止) 届 生活保護指定医療機関指定申請 (廃止)・結核指定医療機関指定申請 (廃止) 被爆者一般疾病医療機関指定申請 (辞退)・救急医療機関申出事項変更・ 指定養育医療機関申請事項変更・児童福祉施設設置届出事項変更・更生医療指定医療機関変更 感染症指定医療機関同意 (廃止)・地域がん診療拠点病院申出事項変更 地域周産期母子医療センター申出事項変更
平成 18年	8月	心臓カテーテル室改築
平成 20年	4月	DPC 対象病院
	7月	許可病床変更 (一般病床 452床・結核病床 8床 ^{※新病院建設時整備} ・感染症病症 6床 計 466床)
	9月	MRI 増設
平成 21年	9月	発熱外来待合室整備 許可病床数変更 (各病室の病床数の変更)

	10月	介護保険法第115条の32第2項（整備）又は第4項（区分の変更）に基づく業務管理体制に係る届出
	11月	ベーカリーショップ整備
	12月	健診センターラウンジ，臨床研修管理部，病院建設整備局，ME室整備
平成22年	10月	許可病床数変更（一般病床442床・結核病床8床・感染症病床6床 計456床）
平成23年	4月	40診療科に変更
	5月	電子カルテシステム導入
平成24年	3月	新本院建設工事着工 鉄筋コンクリート造 地下1階，地上9階建 延床面積48,390.07㎡
平成24年	5月	入退院センター設置
	7月	地域医療支援病院承認 血管造影エックス線診断装置，エックス線骨密度測定装置設置 障害者自立支援法第60条第1項の規程による指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）指定更新
平成25年	3月	外来化学療法室設置 障害者自立支援法第60条第1項の規定による指定自立支援医療機関（精神通院医療）指定更新
	9月	第15回宮城県救急医療研究会学術集会 平成25年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰
	12月	放射性同位元素（放射線発生装置）使用許可（環境省原子力規制委員会）
平成26年	3月	大崎市民病院本院竣工（総事業費 23,208,068千円）
	6月	大崎市民病院開院（新築移転：平成26年6月28日 大崎市古川穂波三丁目8番1号） 平成26年度自治体立優良病院会長表彰 大崎市民病院健康管理センター開設
	7月	大崎市民病院（新本院）外来診療開始（平成26年7月1日） NICU増床（6床）
	8月	指定自立支援医療機関（更正医療）の指定申請（心臓脈管外科に関する医療）
	12月	指定自立支援医療機関（育成医療・更正医療）の主たる担当医師変更申請（腎臓に関する医療）
平成27年	10月	許可病床数変更（一般病床486床・結核病床8床・感染症病床6床 計500床 ※稼働病床数476床） 診療科目に小児外科を追加
平成28年	4月	DPCⅡ群病院

- 稼働病床数変更 (485 床)
- 10 月 特定集中治療病棟 SICU 開設
稼働病床数変更 (487 床)
- 平成 29 年 3 月 日本医療機能評価機構機能種別版項目 3rdG : Ver. 1.1 (認定第 JC2159)
認定
- 平成 30 年 2 月 結核病床廃止 (一般病床 494 床, 感染症病床 6 床 計 500 床)
- 4 月 DPC 特定病院群
- 7 月 へき地医療拠点病院指定
- 10 月 神経内科から脳神経内科に標榜変更
- 11 月 愛媛県宇和島市病院事業と姉妹協定締結
- 12 月 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関指定
- 平成 31 年 1 月 IS015189 認定 (基幹・非基幹)
- 3 月 PET/CT 装置の更新
- 令和元年 6 月 新生児治療回復室 (GCU 6 床) 設置
稼働病床数変更 (500 床)
- 10 月 指定障害福祉サービス事業者 (短期入所) 指定
- 令和 2 年 4 月 放射化物を保管廃棄する保管廃棄設備設置
- 11 月 患者用駐車場に新型コロナウイルス感染症に係る検査等のための陰圧機能付き医療用テント設置
- 12 月 児童福祉法に基づく指定小児慢性特定疾病医療機関の指定更新
難病の患者に対する医療等に関する法律に基づく指定医療機関の指定更新
- 令和 3 年 2 月 診療用エックス線装置の更新
- 10 月 新型コロナウイルス感染症に係る検査等のための陰圧機能付き医療用テントをプレハブに建替